

会員さん、こんにちは！

塚本会頭は、多くの会員の皆様との対話を通じ、魅力的な商工会議所づくりを目指しています。現場の声を会議所運営に、会頭の会員訪問レポートをお届けします。

柔軟な発想と行動で、 オンリーワンの 価値を提供

機械工具の専門商社でありながら、自社ブランド製品を有する「メーカー型商社」として国内外で事業拡大中の株式会社Kamogawaさんを訪問し、社長の竹谷政利さん、執行役員の三上春美さんにお話を伺いました。

(訪問日：6月6日)



▶ 株式会社 Kamogawa

取締役社長 竹谷政利さん(右)、執行役員 三上春美さん(左)

1949年に砥石の企画卸売業として創業、1970年より生産財全般を扱う機械工具商社に業態を転換。1994年に大手取引先の海外進出をきっかけに、当時の業界をリードして中国へ、その後もフィリピン、ベトナム、ミャンマーと進出し、現在は海外に10拠点を持つ。「時代とニーズの変化に合わせて業態を少しずつ変えてきた」と竹谷社長。2000年からは商社機能だけでなく、オリジナル商品の開発製造を行うことで、同社だからこそできる“ものづくりを支えるトータルサービス”を確立し、新たな顧客を開拓している。事業拡大に伴い、2021年12月にはオフィス拡充と物流機能強化のため本社を伏見区に移転。開放感のあるオフィスを整備した。三上さんは「柔軟で自由な発想が生まれるよう、人材育成とあわせて環境づくりにも力を入れている」と話す。



オリジナル商品「DIAMANT」シリーズ
難削材を効率的に加工できるよう
ダイヤモンド砥粒を定着させた工具



開放感溢れるオフィススペース



“まずやってみる”を大切に、若い人が活躍できる会社になりたいです!

企業文化はわが社の強み

商社への業態転換や海外進出、自社ブランドの開発など同社発展の契機となる事からは、全て現場のアイデアから生まれた「挑戦」によるものである。この10年間で社員数が2倍以上となった今でも、創業時から大切にしている「挑戦」する姿勢を失わないよう、社員一人ひとりが現状に満足せず、日々の業務において小さなことでも常に考え行動する「そんなとこ・ことまで考える」を心がけており、企業文化として息づいている。「これからも現場の声を大切にし、Kamogawa にしかできないオンリーワンの価値を提供していきたい」と竹谷社長。2050年に迎える創業100周年に向けて、社員が描く未来像を実現させるため次なる「挑戦」を続けていく。

応援!



塚本会頭

顧客のニーズに応じて、恐れず変化する・挑戦する姿勢は企業の成長に不可欠であると再認識しました。創業時から脈々と受け継がれてきた企業文化を大切に、さらなる飛躍を期待します。